



磯部 光章
(いそべ・みつあき)

1952 (昭和27)年11月3日東京都生まれ。東京大学医学部医学科卒業後、第三内科循環器グループに所属、医学部附属病院、三井記念病院にて臨床経験を重ねた。心臓移植との出会いは、1987 (昭和62)年夏、ハーバード大学マサチューセッツ総合病院(MGH)心臓内科留学を契機としている。1997 (平成9)年、臓器移植法成立を機に国内で本格的に臓器移植がスタートすると、移植医療に豊富な知識を有す内科医として一躍注目されるようになった。信州大学医学部第1内科助教授を経て、2001 (平成13)年、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科循環制御学教授。持ち前のチャレンジ精神で教室を国内有数の循環器専門内科に育て上げる一方、心臓移植領域において要職を歴任、押しも押されもしない本領域の第一人者の地位を確立した。2017 (平成29)年4月、公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院院長に就任。患者志向で知られる名門施設をさらに発展させるべく、闘志を燃やしている。2010 (平成22)年、第14回日本心不全学会学術集会会長、2011 (平成23)年、第28回国際心臓研究学会日本部会会長、2015 (平成27)年、第1回日本心筋症研究会、第56回日本脈管学会会長を務めた。2014 (平成26)年より日本学術会議会員。



聞き手

前嶋 康浩

東京医科歯科大学医学部循環器内科 講師